

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.236

2025. 6. 2

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

**「税金は暮らしの拡充に 戦争準備の軍拡は中止して、憲法、平和、いのち、暮らしを守る政治への
転換を求める請願署名（略称＝大軍拡反対請願署名）」に、ご協力ください！**

若い世代に憲法宣伝と署名を呼びかけ —松園9条の会ほか—



4月23日の昼に、岩手大学構内学生中央食堂前で、松園9条の会、緑が丘地域9条の会は、岩手大学9条の会と呼応して「大軍拡中止、憲法と平和暮らしを守る政治に転換を求める書名」ととりくみました。

同会は、3月から盛岡市内3つの高校前での宣伝と署名にとりくみ、その締めくくりとして岩手大学の新入生に対し署名をすすめました。今回は12名で宣伝や署名の呼びかけを行い、近年最も多い49筆が集約されました。

新入生からは、長引くガザやウクライナ戦争への不安や、「戦争が早く終わってほしい」との願いが多く出されました。署名に対しては「よくわからないので考えてから」という声が最も多く、「憲法を変えて軍備を増やして」「緊急事態に備えるには、憲法も変えなくては」という声もかなり多くありました。その中で、「憲法9条って大事なのですね。初めて知りました」「今の憲法で平和をつくれるのですね」という女子学生の率直な声もあり、励まされました。もっと青年学生に、憲法9条を持つ力を知らせて行く重要性を再認識しました。



この秋にも、また学生への署名を進めることを実現させたいと思っています。（松園9条の会・小林紘一）

《お知らせ》



「沖縄とつながる岩手のつどい in 前沢」開催のご案内

6月28日（土）12：30～14：30 前沢ふれあいセンター 研修室

参加無料 《どなたでも参加できます》

6月23日は「慰霊の日」。糸満市の摩文仁の丘に建つ平和記念公園では 沖縄戦で犠牲になった方々への鎮魂と 恒久平和への祈りをささげる「慰霊祭」が執り行われます。沖縄の人々との連帯、反戦と平和への祈りをこめた「つどい」を開催いたします。沖縄の今をよく知る二人の方に貴重なお話をさせていただきます。

◇オープニング みちのく祭り太鼓の皆さん慰霊のエイサー上演

◇小野寺敏光さん（岩手から「第32軍司令部壕の保存・公開を求める会」を支援する市民有志呼びかけ人）のお話、「知られざる沖縄戦、その後」～TBS「報道特集・沖縄慰霊の日（昨年6／22 放送）上映～

◇岩間滋さん（「沖縄とつながる岩手の会」共同代表。春に毎年1か月、沖縄に滞在）の「沖縄・辺野古・高江の最新情報」

前沢9条の会・新婦人たんぽぽ班・沖縄とつながる岩手の会
お申し込み・お問い合わせ先／

080-6039-5350（前沢9条の会事務局・岩渕さん）

090-7799-6414（新婦人たんぽぽ班・阿部さん）

笑いの中に沖縄・憲法・人権への思い

～「5・3憲法集会inいわて」290 人参加～

市民アクション岩手の会主催で、5月3日に毎年恒例の憲法集会を開催。会場 250 人、ライブ配信で 40 人が視聴しました。



集会では、ユーチューバーで芸人の「せやろがいおじさん」が、「僕が今、伝えたいこと聞いてくれへんか？」と題して公演。会場を笑いの渦に巻き込みながら、軍事基地の集中する沖縄の現状を踏まえ、「尊重される民意とそうでない民意があるのは構造的な差別であり、憲法のもとの平等になっていない」などと指摘しました。



参加者からは、「おかしいことはおかしい」と言ってくれてスッキリした」「涙が出るほど笑わせてもらった。その中で沖縄や憲法・人権への思いも伝わってきた」「難しい言葉ではなく、親しみやすい内容を問題提起してくれてよかった。憲法は今後も守るべきだと改めて感じた」「沖縄の民意と本土の民意に差はあってはいけない」「まじめなことを楽しく話すのは難しいが、こんなに楽しい憲法集会は初めて」などの感想が寄せられました。

当日は、各政党からの連帯挨拶が行われ、達増拓也県知事・高橋昌造矢巾町長・青木幸保平泉町長から「連帯メッセージ」が寄せられました。集会後は、会場周辺でピースパレードを実施し、市民に訴えました。



◇「九条の会ブックレット “石破政権の戦争する国づくり改憲と対決する”」

昨年 11 月 18 日に、九条の会主催で開催した学習会の内容を掲載。事務局の渡辺治氏「石破政権における改憲、軍拡政策の新局面と私たちの課題」や、小沢隆一氏「『戦争する国』づくり 改憲の危険な憲法論と安全保障観」の講演をもとに書き下ろしたブックレットです（2025 年 1 月 27 日発行 A5判・84 頁 1 冊 500 円送料別）。

購入したい場合は 1 冊 400 円（送料込）でお譲りします。ご注文は岩手県生協連まで。

コラム＝ ー国際連合と国連総会を尊重しよう！ー

ご存知のとおり、「（5月）19日、トランプ米大統領とロシアのプーチン大統領は電話会談し、ウクライナ侵攻の和平に向け協議した。ープーチン氏停戦応じず トランプ氏仲介断念示唆 ウクライナ巡り電話会談一米、勝負どころで挫折 丸め込んだ口で主導権ー【ワシントン、モスクワ、キーウ共同】‘25・05・21 付け岩手日報」。

トランプ氏は「居丈高かに」プーチン氏を従わせられると思っていたことでしょう。戦後の国際社会は米国の一存で決まらない状況になっております（プーチン氏を持ち上げる意図はありません。コラム子）。

しかし、国連総会の議決状況を見れば何をしても米国は圧倒的少数あり、かろうじて安保理で拒否権を行使しているだけです。他方、国連はグテーレス事務総長を先頭に「国連憲章を守れ！国際法を守れ！」と声をあげております。米国はここにいたっても「アメリカ、ファースト！」で自分中心の行動です。

このコラムでは「ウクライナの和平」に向けて国連安保理会合で担当次長が行った「公平な解決基準」に関する「スピーチ」を紹介しておりました。国際社会はこのスピーチに沿って、具体的行動を行うべきであり、日本国憲法下の日本国政府は率先して、この「スピーチ」に沿って外交行動をするべきです。（T）

「6月の岩手の会街宣行動」9日(月)12:15～12:45 盛岡市大通・野村証券前

ご都合のつく方は、ぜひご参加ください！